

Vol. 12 欧州理事会の化学物質に関する結論とは

2019/7/3 NITE ケミマガ 447号で、以下の記事を掲載しました。

【2019/06/26】 Council conclusions on chemicals

→ <https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2019/06/26/council-conclusions-on-chemicals/>

欧州理事会は、持続可能な化学物質政策戦略の策定に関する政策指針を提供する化学物質に関する結論を採択した。特に、REACH、内分泌かく乱物質、ナノマテリアル、および医薬品を取り上げている。

この欧州理事会の化学物質に関する結論とはどのようなものか、報道発表を見てみましょう。

(欧州理事会の報道発表)

2019年6月26日に開催された欧州理事会の大臣会合では、化学物質の健全な管理を通して、人の健康と環境を保護する必要性を強調しています。また、欧州の化学物質関連法の一貫性と有効性を高めるために、欧州全体にわたって化学物質のリスク評価と管理を改善する必要性を強調しています。

- 子供や妊婦、授乳中の女性などの脆弱なグループを保護するための適切なメカニズムを開発する必要性を強調しています。
- グリーンで持続可能な化学、非化学的代替の促進、および関係する研究やビジネスモデルの促進を求めています。
- 懸念のある物質を置き換えようとする中小規模の企業を支援することの必要性、消費者が情報に基づく選択を行えるようにするための情報に対するアクセス権を強調しています。
- 人の健康と環境を保護するために適切な行動をとることを可能にする、早期警告システムの開発と実施を支持します。

理事会は、包括的で持続可能な欧州の化学物質政策のための明確な目的を提案する、無毒環境のための欧州戦略を遅滞することなく策定することを欧州委員会に要請します。理事会はまた ECHA の持続可能な資金調達の必要性を強調し、他の法的分野への関与を求めます。

この結論では、以下のトピックスも取り上げています。

医薬品：理事会は、医薬品およびその残留物から環境へのリスクを低減するための具体的かつ意欲的な活動を加速することの重要性を強調しています。

REACH：理事会は、欧州委員会と ECHA に対し、2019年12月までに REACH のドシエ遵守に関する行動計画を策定するよう要請します。また、REACH の認可や制限の手続きを改善することの重要性を強調しています。

ナノマテリアル：理事会は、年間数量が 1 トンの閾値を下回るために登録されていない物質のキャラクタリゼーション、有害性、および潜在的暴露に関する研究データを収集し利用可能とする ECHA の任務を拡大するように欧州委員会に要請します。2017年に開始したナノマテリアルに関する EU-Observatory の性能と影響を評価するよう ECHA に依頼します。

内分泌かく乱物質：理事会は、内分泌かく乱物質への暴露を最小限に抑え、より安全な化学物質に代替えることにより、技術的にも実施可能な最大のレベルで人の健康と環境を保護するように欧州委員会に要請します。そのために明確で具体的な措置を講じる行動計画と野心的なスケジュールを持って望むことを求めます。

【理事会文書[PDF]は <http://data.consilium.europa.eu/doc/document/ST-10713-2019-INIT/en/pdf>】